

子供に代りて

|| 兒童保護講演梗概 || 東京女子大學學監

安井哲子

子供を持つた事のない私が、御母様方の前で、子供の話をするのは、まことにをこがましい事と存じ、再三御ことわり申しましたのですが、こゝは私の母校でもあり、又幼稚園に關係して居りました上からの御奉公の爲に、感じて居りますことを一言申し上げます。

子供こそ自分で育てゝは見ませんものゝ、人の子として、また人様の子をおあづかり申してゐる者として、いろ／＼の方に接して居りますが、もごより幸福な方もありますが、中には悲しい身の上話を私にするやうな境遇の方もあります。私が知つてゐますもので、年が十六ばかりの一人の娘があります。この少女の父親は、相當に教育もあり、相當な職業についてゐた人でありましたが、この少女が生れて里にあづけられてゐる中に、間もなく父親に死に別れましたので、里扶持も居流れになつてしまひました。然し幸ひにも、里の方に子供がなかつた爲め、

ほんどうの子のやうに、可愛がられて居ました。その中に里の方にも子が生れましたがとにかく小學校にも通はされ、卒業後女中となつてゐましたが、後東京に出て女中奉公をつゞけてゐました。この少女は、自分の境遇上から、人生觀がまことに暗くて、世の中を呪ひ、人を呪ひ、死を以て快樂とする云ふやうな夢を見てゐます。實の兄が久しぶり來て、いろ／＼と親切に世話をしよう云ひ出して、兄に對して少しも兄妹の愛情も持たず、まるで他人のやゝな冷淡な氣分でした。所が里の方の弟が奉公にまゐつてゐて、勉強したいからと、この少女の所に手紙をよこしました。一體この少女は頭がいつ方で智的方面にも發達しさうなので、高等女學校の程度の學科を學ばせる爲に、雑誌をよませて居りました。それでこの少女は私にこの里の方の弟のことを相談しますので、中學校でも、高等女學校でも學科には違ひがなく、歴史でも國語でも數學でも皆同じだか

ら、あなたがよみ終つた雑誌を送つてあげたらいい、
でせうと云ひますと、喜んで早速送つてやりました。
この少女のやうに、實の兄に對して兄妹の愛を感じ
ないのに、却て一緒に育つた里の弟に對して眞の愛
を有してゐるなどと云ふのは、全く不幸な境遇がさ
うさせたのでした。

こゝにもまた不幸な子供が居ります。その父親は
事情あつて母親を度々かへた爲、家庭といふものを
了解せず、矢張り人の世を呪ひ、人間を呪ひ、自分
自身を呪ひ、一生を暗くして居ります。また父親の
不行義の爲め子供が三人とも不具者な人がありま
す。しかも、母親は非常な愛を以て、腦がわるかつ
たり、體が虚弱だつたりする子供等をいつくしみ育
て、立派な人物として社會に出すと云ふ積極的のこ
とよりも、それら不幸の子供の生命をつないでやる
といふ消極的努力をしてゐるのを見ますと、とにかく
も母親の愛のあらはれを見て美しいと思はずには
をられません。私は、友人の家に出生があります毎
に、いろ／＼と考へさせられる事があります。希望
と喜びに充ちて、小さいものゝ生れ出づるのを待つ
てゐる若夫婦を見ますと、彼等の前途をかげながら

祝福せずには居られません。又親達の不品行から、
身體精神に缺陷が生じるやうな子供が生れないか
と、恐怖を有してゐる人々を見ると、まことに氣の
毒に絶えませんが、子供が生れ出ようとする時にあ
たつて反省してゐるのですから、心が正しいのであ
りませんが、不具な子供が生れた時に、其が子供自身
の罪であるかのやうに、また天の罪でもあるかのや
うに、考へてゐる親達を見ますと、實に其の精神の
貧しさを残念に思つて居ります。

子供に對しては親らしく親切にしてやるべきもの
で、親の愛を以て子供に接しなければならぬので
すから、私共のやうに教育者として子供に接してゐ
る者が、親の愛もなく、親の忍耐もなくして、しば
しば教育に従事してゐることを考へますと、とくに
辭職して居るべきだと思ふ事があります。子供に對
してまご／＼ろがあれば、其處に知識があるものです。
私の知つて居ります西洋人に、四五年前のことをす
が、耳の聞えない子が生れました。兩親は、その子
の不幸を嘆いて、他の兄妹達よりも一層心をよせて
其子を愛しました。母親はどうにかして其の子に普
通の人と同じやうな教育を授けたいと思つて、御母

様も一緒にアメリカまでつれて行つて、そこで新式の教授法でその子に教育をうけさせ、お母さんも其の教授法を學んで來ました。旅費や費用や、夫を置いてはるゝと其の子一人の爲に行くのには、大した犠牲をはらつたのでありますが、その母親の眞心は本當に美しいものではありませんか。子供は唇の動き方に依つて、言葉を知るのでありますから、母親は子供の爲めに、言葉を明瞭に發音する事を知りました。更に不幸な子供に對する眞心は、このお母さんがアメリカからお金を集めて、新しい、啞の教育を我が國に開く事を心掛けて居ります。眞心は自分一人の子のためばかりでなく、他の子と親との爲めに盡力させたものであります。

子供の教育をまじめに考へて居られる方々が、この機會を利用してよく集つて居られる事を非常に嬉しく感じます。不幸なる子供に對して絶えざる同情と悲しみを表すために、申し上げたのであります。子供に對しては教師といふ職業に居るものよりも、両親の方が直接に愛を感じられる事は勿論であります。ルソーが、「親が子供に着物や食物を與へるだけでは、子供に對しての責任の三分の一も行つてゐ

ない。親は自分の子としてでなく、人間の子の一人として、社會の一人として、又國家の一人としてあづかつてゐなければならぬ」と云つてゐます。子供を不良少女にすれば、親は社會に對して申しわけがないのです。私共教育者よりも、親が愛を以て子供に對することが一番大切なものであります。親心を持たないものは、子供をあづかる資格がないものであります。私は教師を三十年もいたして居りますが、眞に親の感ずる愛を有せずして、教職にあることをいつもはち、心から子供を愛したい、又愛さうと心掛けて居ります。(未校閱||文責在記者)

エスベラント

觀光に來たある西洋人が、電車にのつてゐる時同座の一人の背にゐる嬰兒が、火のつく様になくと、その西洋人、感じ入つたように、

「日本語は難しく、とても、わからない、しかし、赤坊のつかふ言葉は、どこの國も同じことだ。赤ん坊ばかりあつめたら、お互に話がよくわかるのだらう」と、その嬰兒の顔をのぞきこんでゐました。